



# 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年1月27日

上場会社名 信越ポリマー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7970 URL <http://www.shinpoly.co.jp/>  
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）小野義昭  
 問合せ先責任者（役職名）経理グループマネージャー（氏名）平澤秀明（TEL）03(5289)3716  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

### (1) 連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	49,393	8.3	829	10.7	1,313	39.4	571	59.0
25年3月期第3四半期	45,609	△4.6	749	△5.6	942	7.5	359	209.8

（注）包括利益 26年3月期第3四半期 3,456百万円（566.8%） 25年3月期第3四半期 518百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	7.03	7.03
25年3月期第3四半期	4.42	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	86,759	65,682	74.6
25年3月期	81,342	63,020	76.4

（参考）自己資本 26年3月期第3四半期 64,757百万円 25年3月期 62,122百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.50	—	4.50	9.00
26年3月期	—	4.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	4.50	9.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	63,000	3.8	1,400	48.3	1,500	16.1	600	185.4	7.38

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	82,623,376株	25年3月期	82,623,376株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	1,348,451株	25年3月期	1,338,639株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	81,280,162株	25年3月期3Q	81,285,145株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国の企業業績や個人消費が底堅く推移し、欧州景気が底入れするなど、総じては緩やかな回復の動きが見られました。日本では円安・株高が進み、また公共投資も増加するなど、景気回復のすそ野に広がりが見られました。

当社グループ関連の事業環境につきましては、自動車分野をはじめとして、半導体およびOA関連分野の需要が回復に向かいました。

このような状況のもと、当社グループは、販売面では、新製品提案に重点を置いた営業活動を展開し、生産面では、固定費の削減や生産効率の向上などに取組むとともに、能力増を中心とした設備投資も積極的に行ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は493億93百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益は8億29百万円（前年同期比10.7%増）、経常利益は13億13百万円（前年同期比39.4%増）、四半期純利益は5億71百万円（前年同期比59.0%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## ①電子デバイス事業

当事業では、自動車関連入力部品を中心に順調な出荷が続き、全体として売上げは前年を上回り、利益が改善されました。

入力デバイスは、自動車の電装化が進み、キーパッドおよびタッチスイッチの出荷が伸びました。パソコン用タッチパッドは新機種が出荷増加に寄与しました。ディスプレイ関連デバイスは、視野角制御フィルム（V C - F i l m）の出荷は減少しましたが、液晶接続用コネクタが堅調に推移し、前年並みとなりました。コンポーネント関連製品は、スマートフォン向け防水製品の出荷が、防水機構の変化で減少しましたが、部品検査用コネクタの出荷が増加したことにより、前年並みとなりました。

この結果、当事業の売上高は122億89百万円（前年同期比7.1%増）、営業利益は89百万円（前年同期は34百万円の損失）となりました。

## ②精密成形品事業

当事業では、OA機器用部品の出荷が好調に推移し、全体として前年を上回りました。

半導体関連容器は、半導体業界の一部で生産調整がありましたものの、前年を上回る出荷で推移しました。キャリアテープ関連製品は、スマートフォンなど携帯機器関連デバイス分野の需要が落ち着いたこともあり、前年並みとなりました。OA機器用部品は、主要ユーザーの生産が着実に回復しており、また、新機種向け製品の受注・出荷も寄与し、引き続き順調に推移しました。シリコンゴム成形品は、メディカル関連製品が堅調に推移し、建材などは回復に向かいました。

この結果、当事業の売上高は192億52百万円（前年同期比14.1%増）、営業利益は15億15百万円（前年同期比30.2%増）となりました。

## ③住環境・生活資材事業

当事業では、売上げは前年を上回りましたが、原材料コストの上昇、価格改定の遅れなどにより、全体として厳しい状況が続きました。

ラッピングフィルムなど包装資材関連製品は、ファミリーレストランなど外食産業向けが回復し、出荷は前年を上回りましたが、原材料価格上昇の影響が続きました。機能性コンパウンドは、自動車向け新製品の出荷が堅調に続き、また、電線用が好転したこともあり、順調に売上げを伸ばしました。塩ビパイプ関連製品は、住宅着工の回復などにより、出荷は増加しましたものの、価格改定が難航し、また、外装材関連製品は、ホームセンタールートで価格競争などの影響を受け、低調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は136億71百万円（前年同期比3.4%増）、営業損失は6億68百万円（前年同期は3億17百万円の損失）となりました。

## ④その他

首都圏における商業施設の改装物件の受注が順調に推移し、その他の売上げは前年を上回りました。

この結果、その他の売上高は41億79百万円（前年同期比3.5%増）、営業損失は81百万円（前年同期は1億1百万円の損失）となりました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、世界経済は緩やかに回復すると見られますものの、欧州信用不安の再燃や新興国経済の停滞が懸念されるなど、不透明な状況が続いております。また、日本経済におきましても、景気回復が持続するものと期待される一方で、原材料価格や原油価格の高騰などによるコスト増加が見込まれるなど、予断を許さない状況にあります。

このような状況のもとで、当社グループといたしましては、市場環境の変化に対応するため、最重要課題としている新製品の開発、営業力の強化、新規顧客開拓を推進するとともに、固定費や生産コストの削減にも引き続き注力することで、業績向上に努めてまいります。

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年7月24日公表の予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	29,785	32,982
受取手形及び売掛金	17,910	18,825
商品及び製品	4,670	5,090
仕掛品	1,010	1,028
原材料及び貯蔵品	2,029	2,149
未収入金	1,195	945
繰延税金資産	691	938
その他	629	1,207
貸倒引当金	△131	△292
流動資産合計	57,792	62,875
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,115	6,956
機械装置及び運搬具(純額)	5,465	5,440
土地	6,174	6,198
建設仮勘定	622	971
その他(純額)	783	841
有形固定資産合計	20,160	20,408
無形固定資産		
ソフトウェア	628	532
その他	174	157
無形固定資産合計	802	689
投資その他の資産		
投資有価証券	1,215	1,373
繰延税金資産	431	344
その他	940	1,067
投資その他の資産合計	2,586	2,785
固定資産合計	23,550	23,883
資産合計	81,342	86,759

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,941	14,050
短期借入金	0	0
未払金	400	1,366
未払法人税等	126	284
未払費用	1,160	1,536
賞与引当金	797	490
役員賞与引当金	—	26
その他	619	987
流動負債合計	16,047	18,743
固定負債		
長期借入金	2	2
退職給付引当金	1,766	1,720
資産除去債務	185	187
その他	320	421
固定負債合計	2,274	2,332
負債合計	18,321	21,076
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,635	11,635
資本剰余金	10,469	10,469
利益剰余金	45,077	44,916
自己株式	△945	△948
株主資本合計	66,237	66,073
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	159	262
為替換算調整勘定	△4,274	△1,578
その他の包括利益累計額合計	△4,114	△1,315
新株予約権	184	133
少数株主持分	714	791
純資産合計	63,020	65,682
負債純資産合計	81,342	86,759

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	45,609	49,393
売上原価	34,212	37,153
売上総利益	11,397	12,240
販売費及び一般管理費	10,648	11,411
営業利益	749	829
営業外収益		
受取利息	137	175
為替差益	16	268
その他	77	69
営業外収益合計	231	513
営業外費用		
支払利息	26	25
その他	11	3
営業外費用合計	37	28
経常利益	942	1,313
特別利益		
固定資産売却益	18	14
投資有価証券売却益	8	1
新株予約権戻入益	79	50
特別利益合計	107	67
特別損失		
固定資産除却損	16	61
投資有価証券評価損	31	—
たな卸資産処分損	—	210
特別損失合計	48	272
税金等調整前四半期純利益	1,002	1,109
法人税、住民税及び事業税	505	553
法人税等調整額	144	△3
法人税等合計	650	549
少数株主損益調整前四半期純利益	351	559
少数株主損失(△)	△7	△11
四半期純利益	359	571



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	351	559
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	103
為替換算調整勘定	174	2,793
その他の包括利益合計	166	2,896
四半期包括利益	518	3,456
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	524	3,370
少数株主に係る四半期包括利益	△6	86

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	電子デバイス	精密成形品	住環境・生活 資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,473	16,874	13,223	41,571	4,038	45,609
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	11,473	16,874	13,223	41,571	4,038	45,609
セグメント利益又は損失(△)	△34	1,164	△317	811	△101	710

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおりません。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	811
「その他」の区分の損失	△101
棚卸資産の調整額	26
固定資産の調整額	8
貸倒引当金の調整額	3
四半期連結損益計算書の営業利益	749

当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	電子デバイス	精密成形品	住環境・生活 資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,289	19,252	13,671	45,213	4,179	49,393
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	12,289	19,252	13,671	45,213	4,179	49,393
セグメント利益又は損失(△)	89	1,515	△668	936	△81	854

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおりません。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	936
「その他」の区分の損失	△81
棚卸資産の調整額	△36
固定資産の調整額	7
貸倒引当金の調整額	2
四半期連結損益計算書の営業利益	829